
第1回米原市総合計画審議会

日 時：平成 23 年 7 月 7 日（木）

午後 7 時～午後 9 時

場 所：米原市役所米原庁舎 2 A 会議室

■出席者（敬称略）

1 号委員：今川晃・井上芳恵

2 号委員：相宗久夫・細田敏雄・車戸彬邦

3 号委員：大木康司・世一辰男・大澤勉・森定造・宮部道雄・北村きの・居林重磨・川崎善徳
鹿取和幸・大林文彦・池田博・丸本愛子・舟橋麻里

■欠席者（敬称略）

3 号委員：濱川祐次・北村きよみ

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 委嘱状交付
4. 審議会委員および事務局の自己紹介
5. 会長、副会長の選出
6. 諮問
7. 研修「総合計画とは何か」
講師 米原市総合計画審議会委員（同志社大学政策学部教授） 今川 晃 氏
8. 総合計画後期基本計画の策定について
9. その他
10. 閉会

1. 開会

2. 市長あいさつ

市長： 皆さんこんばんは。今日は七夕でありますが大変大雨となり、大雨警報が出ているようです。このように足元の悪い中、また、夜分お疲れのところ本日はお集まりいただきありがとうございます。

今日も国会の予算委員会では原発問題が議論されております。昨日は、県下の市長会議で美浜の原発について議論をし、越前市へ視察に行きました。越前市は原発から 20～30km 圏内にあります。今後はそこを見習ってうちの防災計画を見直したいと思います。原発については彦根市・長浜市などと申し入れに行った際には、情報提供と協

定の締結の申し入れをし、また県下 13 市からの後押しを頂きました。震災に関しては、福島県相馬市を中心に支援をしています。皆さんからいただいた米、炊飯器・布団などを過去 2 回、支援物資として送りました。相馬市は米原市と人口規模・面積・原発からの距離が 50km 圏内という環境等が似通っているところがあります。放射線の影響はないということですが、今後も支援を続けながら米原市の防災対策に活かしていこうと思っています。

7 月 2 日、伊吹出身の尾木直樹先生に米原のふるさと大使として就任を頂きました。テレビ・ラジオでご活躍ですので、米原市をアピールしていただきたいと思います。大変お忙しい方ですが、折を見て市内でも講演をしていただきたいと思っています。

また、昨年から進めているまいばら親子の絆プロジェクトについては、米原駅東西自由通路に写真展示スペースをつくり、3 月いっぱいまで水源の里まいばら Oyako 写真展を実施します。写真家の撮影された有名人の親子の写真を展示しています。今年も 7 月の第 4 日曜日を親子の日として、その日を中心にいろいろなイベントを進めていくつもりです。皆さんのご支援をお願いします。

さて、米原市総合計画につきましては、地域の課題を整理し、米原ならではの魅力を活かすまちづくりの目標をまとめた計画でございます。またこの総合計画は 10 年先を見据えた市の将来設計図とも言えます。平成 19 年 9 月に策定し、10 年後の将来像を「自然きらめき ひと・まち ときめく 交流のまち」と定め、この実現を目指し取り組んでまいりました。今年度ももちまして前期基本計画が終了します。これまでの取り組みの成果を検証し、今後 5 年間の後期基本計画を策定する必要がございます。委員の皆様には米原市が暮らしやすいまち、ずっと住み続けたいまちになるための計画策定に向けて、活発なご議論をしていただき、忌憚のないご意見を賜りたいと思っています、よろしくお願ひ致します。

事務局より資料の確認

3. 委嘱状交付

全委員を代表して今川委員に委嘱状を交付

4. 審議会委員および事務局の自己紹介

今川委員より順次自己紹介

5. 会長、副会長の選出

今川委員を会長に、大澤委員を副会長に選出

(会長・副会長よりあいさつ)

会長：ご指名・ご推薦を頂き、謹んでお受けする。学識経験者の立場は交通整理の役割だと思う。私の出身は米原市ではなく、愛知県知多市出身であり、その後、全国を転々とし、現在は大津市に住んでおり、これからはずっと大津市民でいるつもりである。よろしくお願ひしたい。

副会長：僭越だが副会長にご指名いただいた。会長の補佐をできるような器ではないが、がんばっていきたい。私は新市まちづくり計画・総合計画の策定に携わったが、これらは議会で議決された重要な構想である。これらの構想が前期でどのように達成されてきたのか、どのような経過の中で実践されてきたのかを検証する上で、いい機会だと思っている。そして、その検証結果を元に後期の計画を立てることが大切であると思う。よろしくお願ひしたい。

6. 諮問

市長より諮問

7. 研修「総合計画とは何か」

会長より説明

事務局：ありがとうございました。質問などがあればお願ひしたい。

委員：こんなものを作ったことすら知らなかったが、他の人は知っていたのか。いいことを言っている、みんなが知らなければ動かないと思う。

委員：僕は多少知っていた。自治基本条例策定にも参画していた。総合計画には最初から参画していなかったが、行政はいかにこの計画を住民の中に浸透させていくかが大切である。市民の中で知っている人がどれだけいるかを考えたとき、自治基本条例もまだまだ浸透度は低いと思う。

豊田市のものを見たが行政が縦割りになっているという問題がある。セクションごとに分かれているが、誰が横串を刺すのか。後期計画ではいかに結び付け・コーディネートをするかが重要になるのではないかと。豊田市の場合はどうか、ご説明をお願ひしたい。

会長：豊田市の交友ネット体制とは、まちづくりをしていく民間の方を如何に養成するかを狙いとしている。民が中心となって行政との関係をつなぐことが望ましい。行政組織としては、行政改革を行っており、都市経営課を立ち上げ、各課との調整業

務を行っている。確かに行政は、縦割りで進行している。予算においてもそうで、都市経営課を中心としていかに動かしていけるか、調整は難しい。

5年間の後期計画なので、動かないのであれば行政のあり方についても考えていかなければならないし、認知度が低いのであればそこは大きなポイントであると思う。これらは私自身の感想である。

委員：先生のお話を聞いて、後期基本計画の方が重要だとわかった。効果の測定は難しいということだが、毎年実施される市民アンケート調査は非常に大変だと思う。そのあたりについて良い例・参考になる例があれば教えていただきたい。

会長：効果を測定しなければならないのを分かっているにもかかわらず検討中、という行政が多い。膨大な予算が必要となってくる上、市民がアンケートに答えてくれるかどうか分からない。それぞれのまちの課題をいくつか絞り、それらを中心にアンケート調査するのは効果的だと思う。また、地域の代表の方が地域の中であった変化を伝える場所があり、計画を毎年見直せるような仕組みが必要である。

副会長：構想・計画は議会の承認議決が必要であったが、現在は必要が無くなった。こういった計画では、施策の実施は行政に委ねられているが、その策定段階では市民の参画が大事だと思う。議会での承認が必要なくなった今、どのようになっていくのか。

会長：議会が議決の事案を増やしていくという方法と、判例があって行政が議会に報告をして承認をするという方法がある。法律で議決が必要無くなるということではなくていいということではなく、自治体を中心となって主体的に行いなさいということである。

副会長：前期基本計画の実践状況を把握しないと後期基本計画に反映できない。この計画を本当に実のあるものにするためには、前期の見直しが非常に重要である。

この計画は議会の承認を得ており、議会と行政が共有しながら実践していると思うが、今後どのように価値観を高めていくのか。

前期で実施計画を立案し、都度、ローリングで見直しをしてきたと思うが、どのようなローリングをしてきたのか。また、その結果どのように状況が変わったと認識しているのか。実施計画のプラス効果とマイナス効果についての分析を提言いただきたい。

会長：議題8でそのことに触れるので、次に進みたい。

8. 総合計画後期基本計画の策定について

事務局より説明

会長：説明を踏まえ、質問はあるか。

副会長：私は総合計画の審議に携わったからいいが、他の委員さんにとっては、総合計画の実践について、自分たちの意見がどのように反映されるのかが重要であると思う。毎年行われているローリング作業について、その行政システムを分かり易く説明していただきたい。また、行政内部において、どのような課題を元にどのような意見を交わされたのかが大事であると思う。水源の里のように、総合計画当初から計画されておらず、実施計画の段階で加わったプラス要素もあれば、マイナス要素もあると思う。そのために、ローリングシステムをみんなで共有したほうがよいと思うので、説明をお願いしたい。

事務局：本年度、総合計画は議会の議決事項ではなくなったが、何らかの形で議会に報告していきたいと思う。

計画のシステムについて、総合計画は最上位の計画である。まず基本構想があり、その下に基本計画があり、実施計画がある。実施計画は1期を3年とし、毎年夏に前年度の事業評価を取りまとめている。その状況に応じて遅れているものは予算を踏まえ、計画の練り直しをしている。毎年見直しをして、10年間の計画実行に移している。水源の里は当初の計画には入っていなかったが、今後どのように形としてまとめていくかが重要なポイントである。

会長：その他、何かご意見などはあるか。

委員：議案と外れているかもしれないが、一般市民としての声を言わせていただきたい。

1つ目として、米原駅西口についてその構図に市民の声を反映させていただきたい。

2つ目として米原市の幼稚園についてその屋根が六角形な為、外からこうもりが入ってきて糞尿がひどい状態である。また、ジョイントの部分にコールタールが流れてきて異様な臭いを放っている。私はそれを県会議員や市会議員に伝えたが、なかなか実行できないので署名運動を考えてはどうかと言われた。

このような身近な問題こそが重要であって、総合計画は真に市民の意見を反映するものではないかと思う。もっと目に見えた総合開発をしていただきたい。女性として、子供を中心とした身近な問題から解決していけばもっと市民が喜ぶと思う。

会長：本日は個別の実施計画の話はしないが、こうした現実を基本計画の中に強調していくと言う意味では、議論になると思う。

事務局：市民の顔が見えるまちをつくっていかうという思いから、こういった貴重な意見を計画の中にどういう形で表していくか、今後のご意見をお願いしたい。

委員：市がこれから計画を策定するにあたって何を基準にしているのか、これからはどのようにしていくのか。ベースになるものというか、バックボーンはあるのか。

事務局：基本になるものはすでに出来上がっている総合計画であり、前期の実施状況を分析し、後期にどのように活かしていくか、また新たな課題を取り込み作成することになる。

委員：議会の議決や承認はどうするのか。いつするのか。

事務局：法の改正に伴い議会による議決は必要なくなったが、何らかの形で報告したいと思う。条例改正は、今年度、または最終年度に議決をしていただくことになろうと思う。すでにお話ししたが、この計画は3層構成になっている。基本構想については議決事項になっていたが、基本計画、実施計画は議決事項ではないため、議会報告という形をとる予定である。

副会長：法的解釈はそのとおりだが、基本計画を審議しないことには基本構想の実践を達成できない。基本計画を中心に審議されていくということは事実であり、認識が必要である。

事務局：議会を軽視しているわけではないので、そのあたりをしっかりと認識していく。

委員：基本計画の中に20の項目があるが、それぞれに具体的な施策をやっているのか。あれば教えてほしい。

事務局：事前に送付した総合計画のファイル、実施計画第5期版に具体的な実施状況を詳しく示している。

委員：10年間の基本構想であるが、時代が変わるスピードがアップしてきている。少子高齢化についても触れられているが、うちの集落を例にとると、10年前には人口が450人だったのに対し、今年は290人を切っている。105の自治会についても、半数以上が限界集落へと近づいている。毎年ローリングされているということだが、時代のスピードは速いのに、元の形に囚われすぎて時代の変化に対応していないように思う。大きい構想は大切であるが、この度の震災により防災計画の見直しが必要になるなどもっと柔軟性を持ってほしいのに、この計画はテンポがゆっくりしている。

会長：現実の変化を捉えて役立つ計画を作っていただきたい。他にご意見はあるか。

委員：少子高齢化、人数が減ってくると元気が出ないように思われがちだが、むしろ高齢者の方が元気だと思う。本人らには高齢者だという自覚がないのだから、高齢者だからといって活躍の場を奪うのではなく、もっと活用してはどうか。そうすればさらに活力にあふれ、医療費も減るのではないか。若い人の力が足りないのであれば高齢者がカバーしてはどうか。

また、今の老人会のあり方を改善する必要がある。ゲートボールをするためではなく、子どもの世話などや目的意識を持ったサークルを作らなくてはならない。文化協会は自立し、世の中のためにならなければならない。

米原には集落の結束など良いものがいっぱいあるのに、今では弱くなってしまっている。また、旧4町の垣根がある。垣根を取り払い、市全体で取り組まなければ発展しない。

会長：どういう方向で強調していくのか参考にさせていただきたい。時間だが議論を続けるべきか。

副会長：コンサルタントは、総合計画立案時のコンサルタントとして認識してよいのか。

事務局：前回と同じ業者ではない。

会長：まだまだご意見あると思うが、後ほど文章などでご提出いただきたい。

9. その他

会長：事務局よりその他について説明をお願いしたい。

事務局より説明

会長：今回はセレモニーの部分もあったが、次回より審議時間を少し長めに取っていただければと思う。定刻を過ぎたが、これにて終了としたい。

委員：テーマがばらばらなので、ある程度しぼらないとまとまらない。

会長：次回は、前期の評価等を含めてテーマを絞ってもらえると思う。では、これで終了させていただきたい。

事務局：様々なご意見ありがとうございました。次回は少し長めに時間をとって審議をしていきたい。基本計画については市の将来の施策の方向を示す重要で難しいものである。皆様のお力、お知恵をお借りして進めていきたいので、よろしくお願ひしたい。本日はありがとうございました。

10. 閉会

(終了)